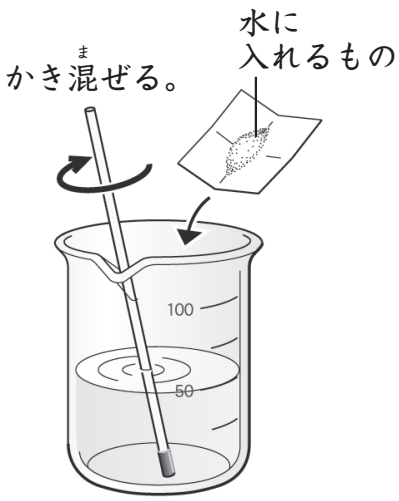
月　日

水よう液の重さ（１）

名前

1 次の文は、もののとけ方についてまとめたものです。（　　）にあてはまる言葉を下の［　　］から選び、書き入れましょう。



食塩や㋐（　さとう　）を水に入れてかき混ぜると、つぶが見えなくなり、液がすき通って（とうめいに）見えるようになる。このように、水の中でものの形がみえなくなるほど①（　小さく　）なって液全体に広がることを、ものが㋒（水にとける）という。また、ものが水にとけた液のことを㋓（　水よう液　）という。

さとう	水にとける	大きく	小さく	水よう液

＊使わない言葉もあります。

2 次の(1)～(5)の文のうち、ものが水にとけているといえるものには○、いえないものには×をつけましょう。

(1)（ ○ ）ものを水に入れてかき混ぜると、液に色がついたが、液全体はすき通って（とうめいになって）いる。

(2)（ × ）ものを水に入れてかき混ぜると、液に色がついて、液全体はにごった。

(3)（ × ）ものを水に入れてかき混ぜると、上のすき通った（とうめいな）部分と底にしずむ部分に分かれた。

(4)（ × ）ものを水に入れてかき混ぜた後、しばらくはすき通って（とうめいになって）いたが、時間がたつと底にしずんだものが見られた。

(5)（ ○ ）もののつぶを水に落とすと、つぶが液全体に広がり見えなくなった。

© ちびむすドリル この学習プリントは、ちびむすドリル 検索 で無料ダウンロードできます。